

第 60 回建築人間工学小委員会研究会

「パラリンピックアスリートが語る ユニバーサルデザイン」

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、生活環境、施設整備の状況をユニバーサルデザインの視点から見つめ直し、建築人間工学としてのこれまでの成果や今後の課題を整理する。競技施設および関連施設、まちづくりに関して、体験をもとにパラリンピックアスリートの方々からコメントをいただき、国や地域の違いや多様な利用者を考慮したユニバーサルデザインとしての日本の現状や諸外国との差、今後の課題を討議する。あわせて、わが国でも早期にバリアフリーを考慮して開設された総合的な障害者スポーツ施設の見学会を行い、障害者の利用を考慮したユニバーサルデザインの今後の計画や設計のあり方を確認する。

主催：建築計画委員会 計画基礎運営委員会 建築人間工学小委員会

後援：全国脊髄損傷者連合会 兵庫県支部 兵庫脊損協会

日時：2014 年 11 月 29 日（土）13:30～17:00

会場：大阪市長居障がい者スポーツセンター（大阪市長住吉区長居公園）

<プログラム>

【第一部】 13:30 ～15:30

13:30-13:35 主旨説明 田中直人（建築人間工学小委員会主査／島根大学）

13:35-14:35 パネルトーク「パラリンピックで見えてきた施設・まちづくり」

- ・加藤作子（シドニーパラリンピック金メダリスト）
- ・生長奈緒美（大阪府立視覚支援学校音楽科講師、北京・ロンドンオリンピック出場）
- ・児玉 健（日建設計UD計画・設計者）

14:35-15:15 ディスカッション

田中直人、加藤作子、生長奈緒美、児玉 健（前掲）

15:15-15:30 まとめ

【第二部】

15:30-17:00 大阪市長居障がい者スポーツセンター 見学会

参加費：会員 1,000 円、後援団体会員 1,200 円、会員外 1,500 円、学生 500 円

（資料代含／当日会場払い）

定員：45 名（申込み先着順）

問合せ・申込み：建築人間工学小委員会 老田智美

E-mail: oida@nats-jp.com